

岡崎市 猛暑対策で小中校全教室にGHP

LPガス機は25校150台

西三エールピーガス 地域貢献で市の信頼 保安センター

岡崎市(内田康宏市長)は、夏場の猛暑対策のため市立小中学校67校(小学校47校、中学校20校)のエアコン設置済み15教室(普通教室、特別支援教室)を除いた1779教室すべての空調にGHPを導入し、7月から順調に稼働している。このうちLPガス仕様は25校467

教室に、GHP150台(合計3900馬力)が設置された。他の42校は都市ガス仕様となる。学校空調をすべてガスで賄う自治体は他にもあるが、これだけの数で、しかもLPガスで25校というのは全国的にもまれな事例だ。

岡崎市は昨年12月、公(本社・名古屋市、神谷ターが担当。バルク設置立小中学校のエアコン設置秀樹社長)と契約。全校は3校、残りはシンダ置の設計から施工維持でGHPを採用すること管理(10年間)までを1になり、6月末に設置を括発注するPFI(民間完了させた。都市ガス導ほか、理科室、家庭科資金活用による社会資本管外地区の25校へのLP室、図工室、保健室、給ガス仕様を含めた設計か整備)方式に基づき、東ガス供給は、協同組合西食室などが含まれる。この夏も暑い日が続いてい邦ガスエンジニアリング三エールピーガス保安セン

だが、設置した小中学校安センターの存在があった。同組合は1982年の体調管理や快適な授業環境作りなどに貢献し、ガス販売事業者で構成した。同市では今回の都市ガス販売事業者で構成した。現在37社が加盟している。2013〜15年には、同組合の収益をもとに災害時に強いLPガスの特性のアピールを兼ねてLPに決定された背景にPガス発電機を市内30校に寄贈した。こうした地道な活動が評価され、15年には岡崎市から感謝状が贈呈された。そのような経緯から岡崎市はLPガス、とりわけ西三エールピーガス保安センターに對し、深い理解を示していた。このため、都市ガス導管外地区のLPガス仕様のGHPへの燃料供給はすべて同組合が指定を受けた。

組合側も「岡崎市には昔からLPガスに對し、理解をいただいている。13年からは3年間、毎年10校ずつLPガス発電機を寄贈し、LPガスが災害に強いエネルギーであり、有事の困難な状況時に非常に大きな力を発揮することを説明してきた。そうした積み重ねが当組合への信頼と発注につながった」(栗山義徳事務局長)と、長年の地域貢献活動が結実したことに喜びを表している。

また、岡崎市教育委員会の話では「今回の公募で、電気事業者からも提案を受けた。インシアルコストは電気もガス(都市ガス・LPガス)も相違がなかったが、ランニングコストでガスの方が優れていた」(加藤宏幸



奥殿小学校



奥殿小学校に設置されたGHP



太田勲氏



栗山義徳氏

汗流す姿に金メダル

工事業者に児童が感謝

設置工事には施工業者と児童の心温まる交流もあつた。奥殿小学校には室外機2台のほか、室内機が21台が取り付けられたが、工事に当たった籠宮工業(本社・一宮市)の人たちの明るさ、礼儀正しさが子供たちの心を捉え、学校のヒーローになった。



奥殿小学校の児童から送られた金メダル

児童たちは工事期間中、作業する人たちの姿に教育者としての気持ちが高揚したという。業者の人たちも子供たちがあいつつすると、どんな忙しい状況下でも必ず笑顔で返してくれた。赤崎校長は「働いている時も皆さんニコニコし生、僕たちのために汗を流して働いてくれて、同じ教育者の目線で子供たちに接してくれた。夏もじめ業にしく

取付け工事を行った。だろつな」と話す子なを教えた」と、児に工事をしてくださって



竜海中学校



竜海中学校に設置されたGHPの一部

置したが、「これまで暑さでぐったりしていた児童たちの表情が明るくなり、シャキッとして授業を受けるようになった。水分補給用に持参する水筒のお茶も午前中になくなる子がいたが、今は逆に下校時に残っている子もいて、皆元気良く下校している」(太田勲校務主任)と、児童の様子のがらりと変わったことを喜んでいる。

バルクでLPガスを供給する学校の一つ、竜海中学校(生徒数954人)では44教室(普通教室28、特別支援教室5、理科室3、美術室2、被服室、調理室、木工室、金工室各1、その他教室2)の空調用にGHPを12台設置したが、こちらも教室内で生徒たちの表情に心地良さが見られ、体調不良を訴える声も減ったと満足する。

同組合では「今後ともより一層LPガスのメリットをアピールし、給食センターや災害時に避難所となる体育館、公民館などにも積極的にGHPを提案していきたい」(栗山事務局長)と、設置完了後の次なる目標に意欲を見せている。